

青森県経済統計報告

平成 21 年 11 月 6 日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成 21 年 10 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,382,517 人（対前月 552 人減少）
自然動態	412 人減少（出生者数 807 人、死亡者数 1,219 人）
社会動態	140 人減少（転入者数 1,538 人、転出者数 1,678 人）

2 本県の経済動向（平成 21 年 8 月・9 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成 21 年 8 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年=100)は、季節調整済指数が 97.3 で、前月比 3.5%の上昇となり、2ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は 88.2 で、前年同月比 10.8%の低下となり、11ヶ月連続で前年同月を下回った。 … 2
- (2-2) 雇用情勢 平成 21 年 8 月の定期給与は 214,382 円で前年同月比 4.3%減となった。総実労働時間は 152.9 時間で前年同月比 0.9%減、所定外労働時間は 8.4 時間で前年同月比 11.7%減となった。平成 21 年 9 月の有効求人倍率（季節調整値）は 0.29 倍で、前月と同水準となった。 … 3
- (2-3) 物価 平成 21 年 9 月の青森市消費者物価指数（平成 17 年=100）は、総合指数が 100.9 となり、前月と比べ 0.5%の上昇、前年同月と比べ 2.6%の下落となった。 … 4
- (2-4) 個人消費 平成 21 年 8 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 147 億 3,600 万円 で前年同月比 4.4%減と 9ヶ月連続で、既存店ベースでは 7.6%減と 13ヶ月連続で減少となった。平成 21 年 9 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 4,183 台で、前年同月比 8.0%の増となり、2ヶ月連続で前年を上回った。 … 5
- (2-5) 住宅建設 平成 21 年 9 月の新設住宅着工戸数は 454 戸で、前年同月比 13.4%減となり 6ヶ月連続で前年を下回った。 … 6
- (2-6) 電力使用量 平成 21 年 9 月の大口電力使用量は 1 億 8,410 万 kWh で、前年同月比 14.0%減となり、10ヶ月連続で前年を下回った。 … 6

（3）景気動向指数（平成 21 年 8 月分）…………… 7

先行指数	66.7%（3か月連続で50%を上回った）
一致指数	62.5%（2か月連続で50%を上回った）
遅行指数	33.3%（13か月連続で50%を下回った）

（4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 21 年 10 月期）…………… 8

3ヶ月前と比べた景気の現状判断DI	…37.5（前期比0.5ポイント増、9期連続で50を下回る）
3ヶ月後の景気の先行き判断DI	…41.0（前期比2.8ポイント減、9期連続で50を下回る）

1 青森県の推計人口（平成21年10月1日現在）

【概況】

平成21年10月1日現在の本県推計人口は、1,382,517人で、前月に比べ552人の減少となった。

○自然動態

出生者数が807人、死亡者数が1,219人で、412人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,538人、転出者数が1,678人で、140人の減少となった。

総人口の推移

（単位：人）

	総数	対前月増減率		増減数	自然増減数	社会増減数		県外からの転入者数	県外への転出者数		
		男	女			出生者数	死亡者数				
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-		
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-		
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-		
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-		
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-		
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-		
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-		
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-		
20.10.1	1,394,806	655,857	738,949	-0.029%	-402	-262	905	1,167	-140	1,688	1,828
20.11.1	1,394,366	655,555	738,811	-0.032%	-440	-440	875	1,315	0	1,738	1,738
20.12.1	1,393,670	655,232	738,438	-0.050%	-696	-567	739	1,306	-129	1,222	1,351
21.1.1	1,392,976	654,990	737,986	-0.050%	-694	-536	813	1,349	-158	1,265	1,423
21.2.1	1,392,029	654,468	737,561	-0.068%	-947	-594	901	1,495	-353	1,286	1,639
21.3.1	1,391,164	653,996	737,168	-0.062%	-865	-557	679	1,236	-308	1,259	1,567
21.4.1	1,385,598	651,094	734,504	-0.400%	-5,566	-513	814	1,327	-5,053	4,158	9,211
21.5.1	1,385,096	650,947	734,149	-0.036%	-502	-437	829	1,266	-65	4,232	4,297
21.6.1	1,384,450	650,589	733,861	-0.047%	-646	-464	796	1,260	-182	1,367	1,549
21.7.1	1,383,903	650,327	733,576	-0.040%	-547	-538	780	1,318	-9	1,468	1,477
21.8.1	1,383,441	650,121	733,320	-0.033%	-462	-430	804	1,234	-32	1,949	1,981
21.9.1	1,383,069	649,947	733,122	-0.027%	-372	-379	796	1,175	7	2,001	1,994
21.10.1	1,382,517	649,689	732,828	-0.040%	-552	-412	807	1,219	-140	1,538	1,678

9月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月		平11.9	12.9	13.9	14.9	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9	20.9	21.9
自然動態	出生者数	1,107	1,127	1,030	1,046	1,040	986	942	940	765	905	807
	死亡者数	1,002	894	941	1,060	1,139	1,106	1,091	1,086	1,042	1,167	1,219
	自然増減数	105	233	89	-14	-99	-120	-149	-146	-277	-262	-412
社会動態	県外からの転入者数	1,757	1,867	1,643	1,758	1,842	1,618	1,738	1,590	1,710	1,688	1,538
	県外への転出者数	1,878	1,708	1,758	1,935	2,082	2,012	2,131	1,872	2,020	1,828	1,678
	社会増減数	-121	159	-115	-177	-240	-394	-393	-282	-310	-140	-140

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口（確定値）。

※2 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※3 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

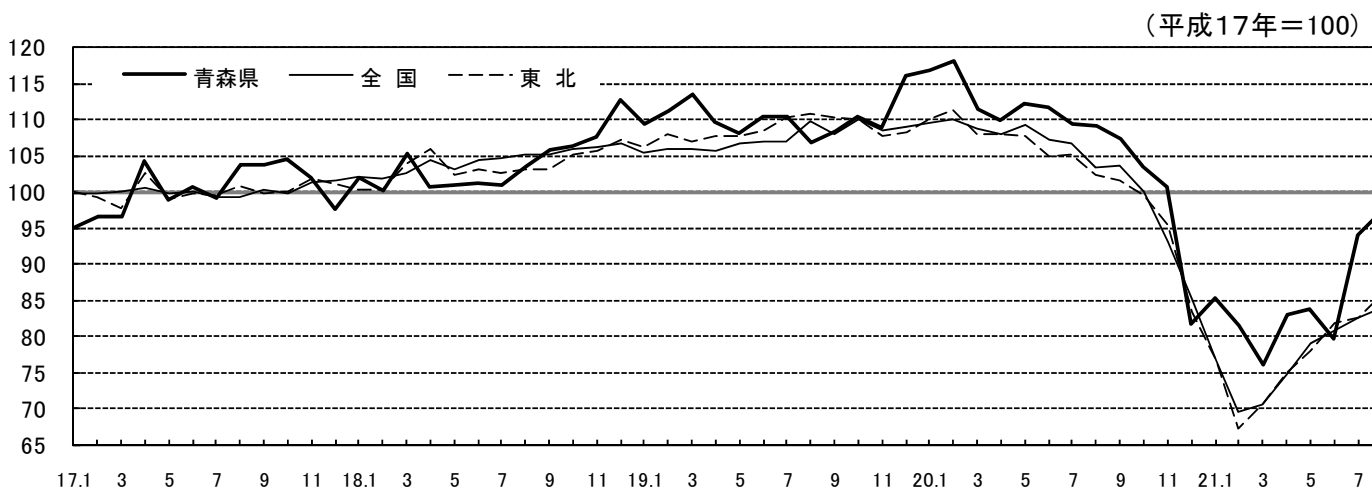
(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

平成21年8月の青森県鉱工業生産指数（平成17年=100）は、季節調整済指数が97.3で、前月比3.5%の上昇となり、2ヶ月連続で前月を上回った。また、原指数は88.2で、前年同月比10.8%の低下となり、11ヶ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きを見ると、電気機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、電子部品・デバイス工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、一般機械工業、鉄鋼業などが低下し、鉱工業全体では3.5%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）

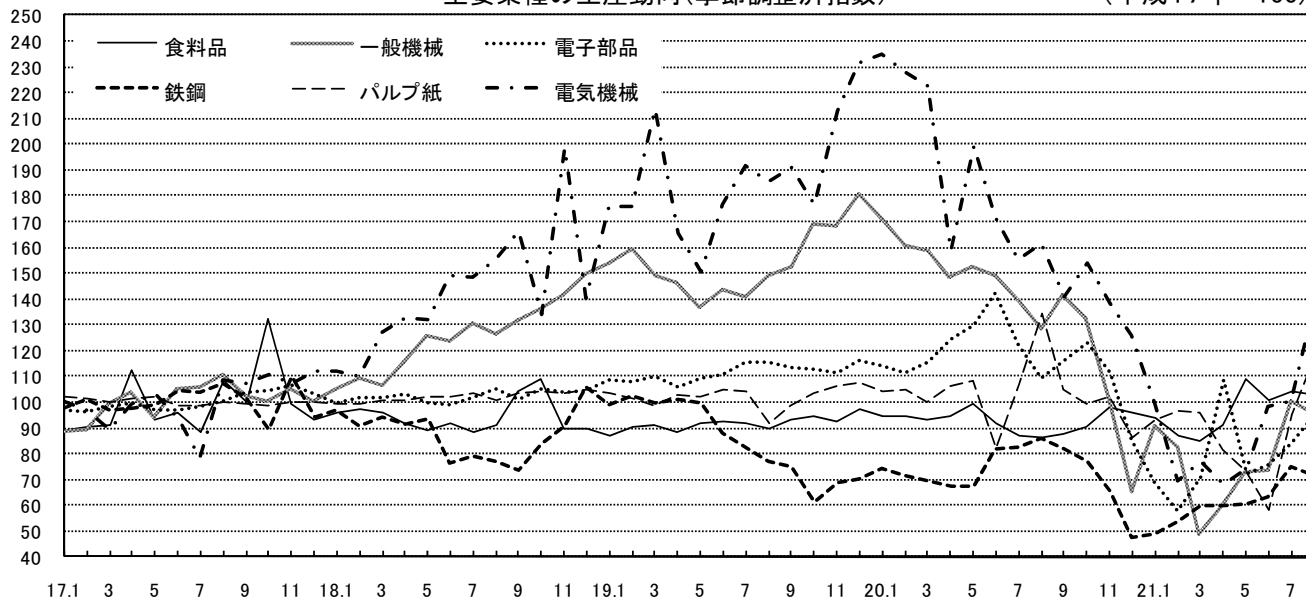


◎業種別動向（前月比） 鉱工業全体 +3.5%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電気機械工業	37.0	64.3	化学工業	-53.5	-88.5
パルプ・紙・紙加工品工業	23.9	57.8	一般機械工業	-5.3	-21.0
電子部品・デバイス工業	12.9	38.0	鉄鋼業	-5.0	-12.1
その他製品工業	224.8	30.3	輸送機械工業	-34.3	-10.0
金属製品工業	16.8	28.3	食料品工業	-1.3	-9.9

主要業種の生産動向（季節調整済指数）

(平成17年=100)



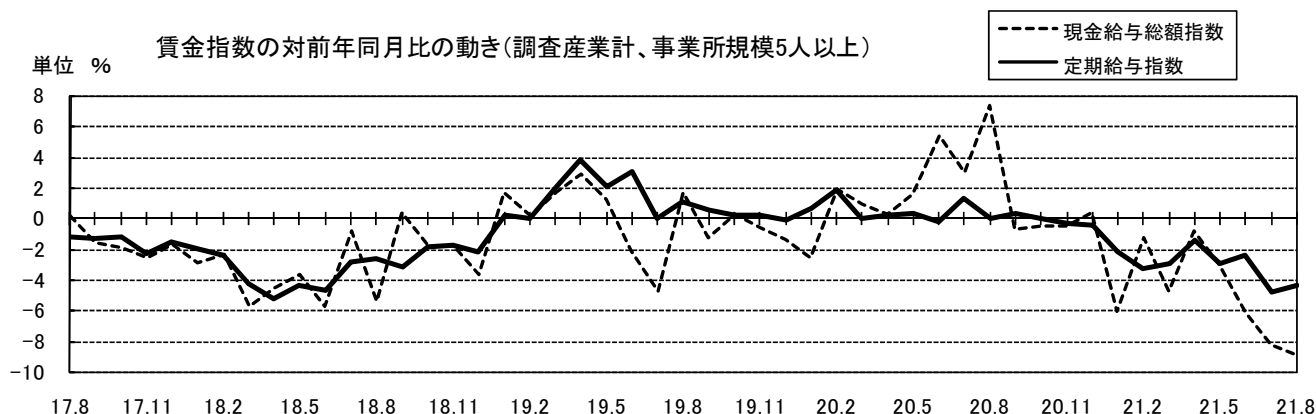
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数（速報）」

(2-2) 雇用情勢

平成21年8月の定期給与は214,382円で定期給与指数(平成17年=100)では93.1となり、前年同月比4.3%減(現金給与総額230,127円、現金給与総額指数84.4、前年同月比8.9%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は82.1となった。

総実労働時間は152.9時間で、総実労働時間指数は96.0となり、前年同月比0.9%減となった。このうち、所定外労働時間は8.4時間で、所定外労働時間指数は84.8となり、前年同月比11.7%減となった。

平成21年9月の有効求人倍率(季節調整値)は0.29倍で、前月と同水準となった。



賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

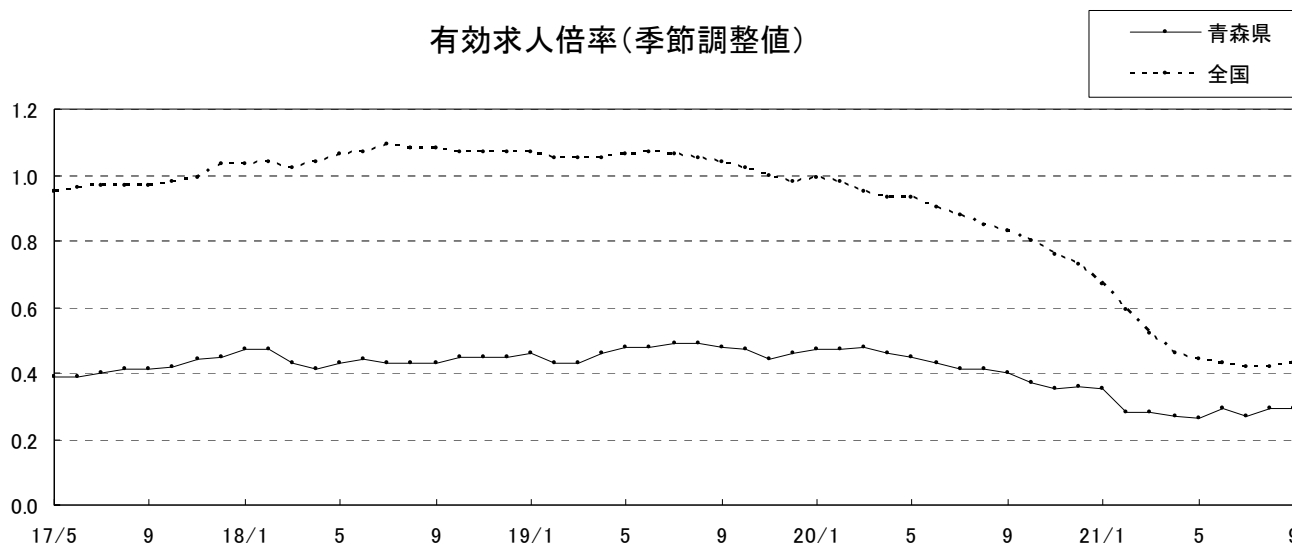
	実数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	230,127 円	274,324 円	84.4	82.7	-8.9 %	-2.7 %
定期給与	214,382 円	261,237 円	93.1	96.7	-4.3 %	-2.0 %
特別給与	15,745 円	13,087 円	—	—	—	-13.8 %
総実労働時間	152.9 時間	141.6 時間	96.0	93.9	-0.9 %	-1.5 %
所定内労働時間	144.5 時間	132.7 時間	96.7	94.7	-0.3 %	-0.5 %
所定外労働時間	8.4 時間	8.9 時間	84.8	84.0	-11.7 %	-14.2 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料:県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

有効求人倍率(季節調整値)



資料:青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成21年9月の青森市消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が100.9となり、前月と比べ0.5%の上昇、前年同月と比べ2.6%の下落となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ3.2%の下落となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.1となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ0.7%の下落となった。

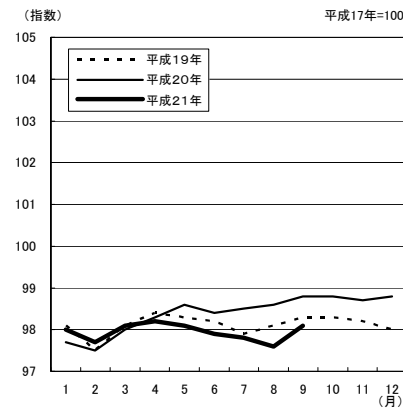
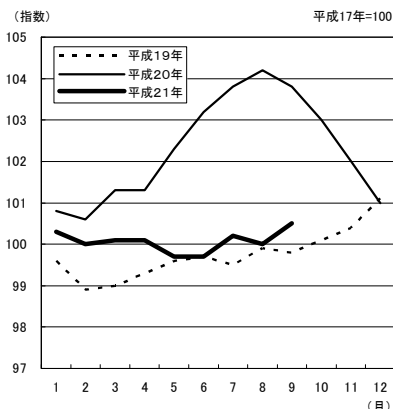
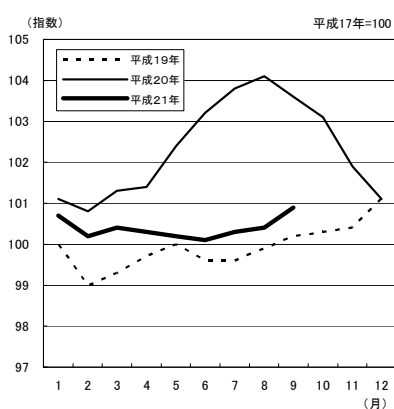
総合指数が前月と比べ0.5%の上昇となった内訳を寄与度でみると、被服及び履物、住居などの上昇が要因となっている。

総合指数の前年同月と比べ2.6%の下落となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの下落が要因となっている。

図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

図1 総合指数の動き

図2 生鮮食品を除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及び エネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・ 水道	家 具 被 服 及 履 物	保 健 交 通 ・ 通 信	教 育	教 娛	養 楽	諸 雑 費	
当月指数	100.9	100.5	101.4	98.1	103.9	107.6	98.7	106.6	95.8	101.6	97.8	99.6	102.1	94.0	101.7
前月比 (%)	0.5	0.5	0.4	0.5	0.3	0.7	0.7	0.0	0.9	10.4	▲ 1.0	▲ 0.6	0.0	▲ 0.8	0.2
寄与度	0.50	0.47	0.34	0.32	0.09	0.05	0.14	0.00	0.03	0.39	▲ 0.04	▲ 0.06	0.00	▲ 0.08	0.01
前年 同月比 (%)	▲ 2.6	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 0.7	1.6	7.8	▲ 0.9	▲ 16.9	▲ 1.1	0.9	▲ 1.3	▲ 6.2	0.4	▲ 1.2	0.0
寄与度	▲ 2.61	▲ 3.01	▲ 2.52	▲ 0.43	0.44	0.43	▲ 0.18	▲ 2.09	▲ 0.03	0.04	▲ 0.05	▲ 0.69	0.01	▲ 0.11	0.00

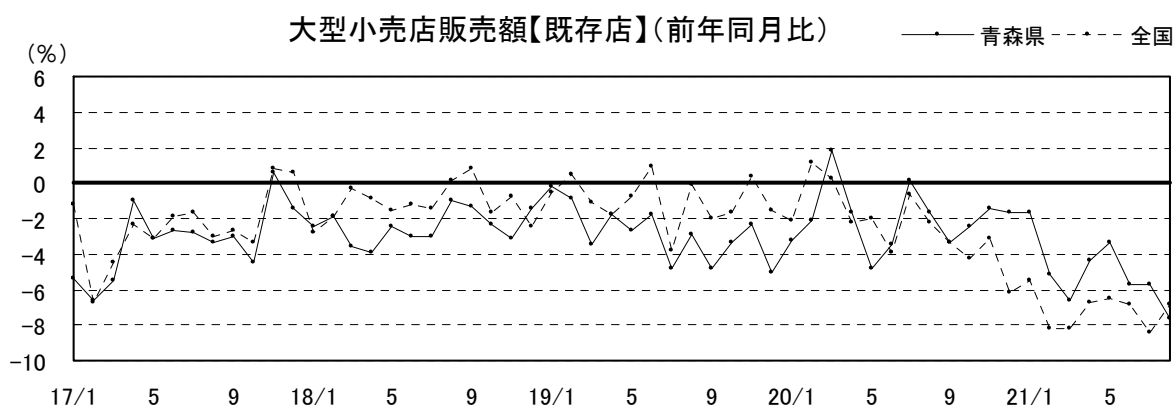
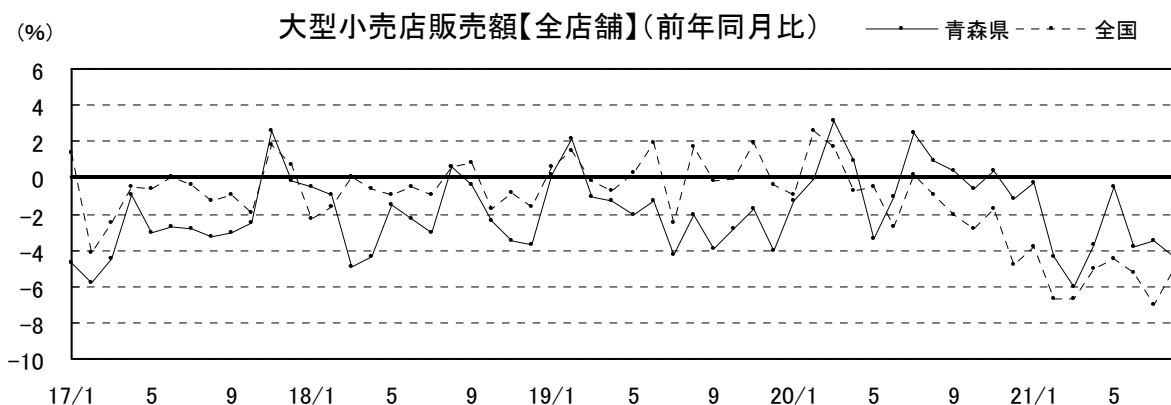
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

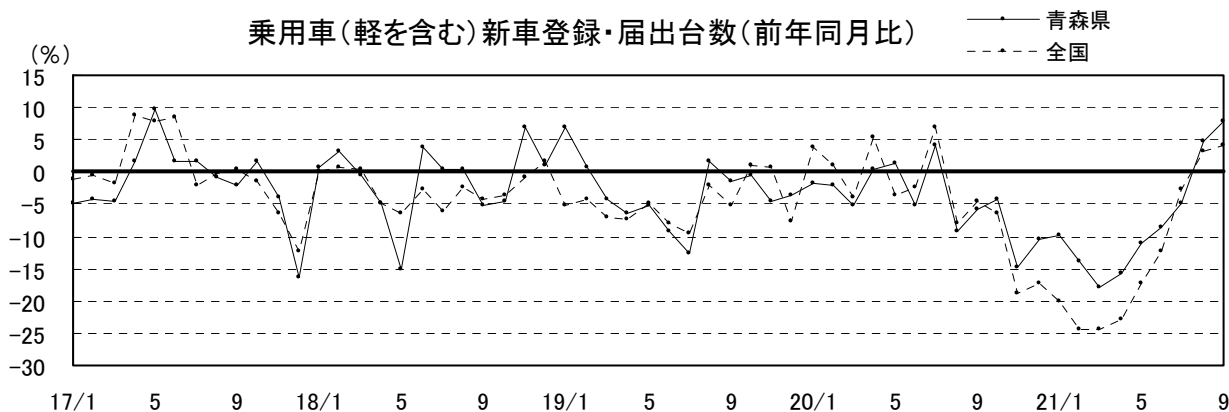
平成21年8月の大型小売店販売額は全店舗ベースが147億3,600万円で、前年同月比4.4%減と9ヶ月連続で、既存店ベースでは7.6%減と13ヶ月連続で減少となった。天候不順による夏物衣料の低迷や、飲料等の盛夏商品がふるわなかったことによる。

平成21年9月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は4,183台で、前年同月比8.0%の増となり、2ヶ月連続で前年を上回った。軽乗用車が前年同月を下回ったものの、普通車、小型車が増加したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

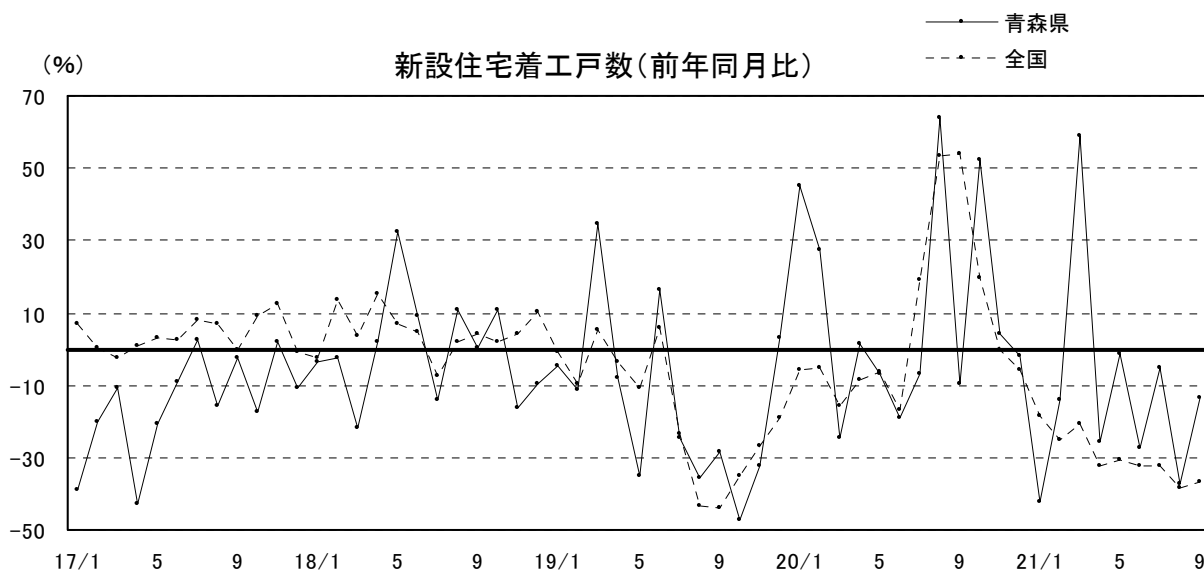
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

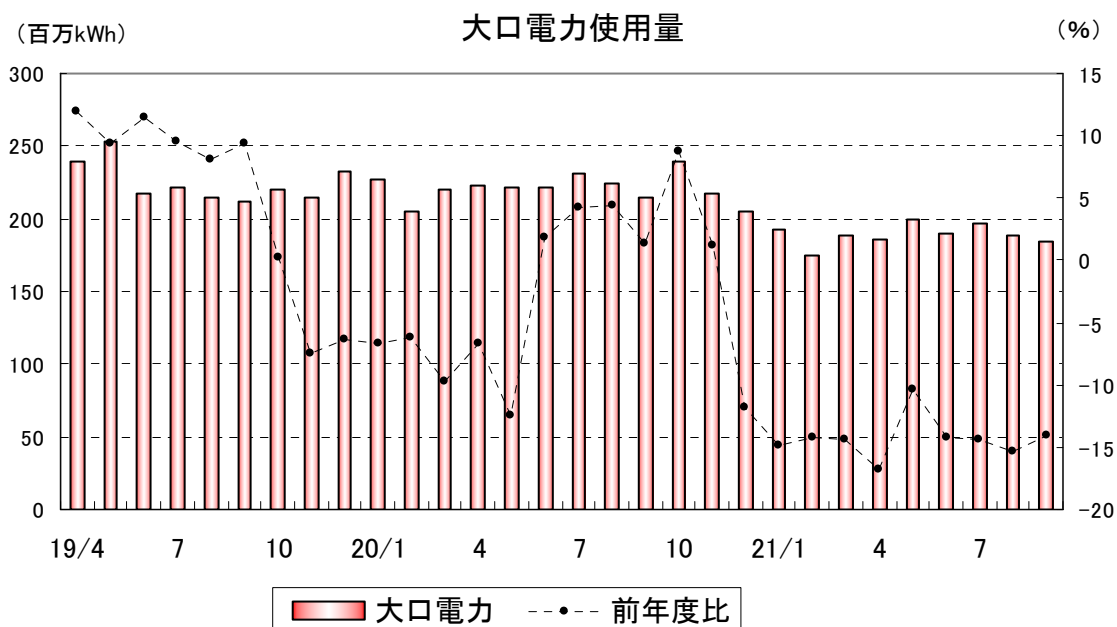
平成21年9月の新設住宅着工戸数は454戸で、前年同月比13.4%減となり6ヶ月連続で前年を下回った。貸家、分譲が増加したものの、持家が減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 電力使用量

平成21年9月の大口電力使用量は1億8,410万kWhで、前年同月比14.0%減となり、10ヶ月連続で前年を下回った。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

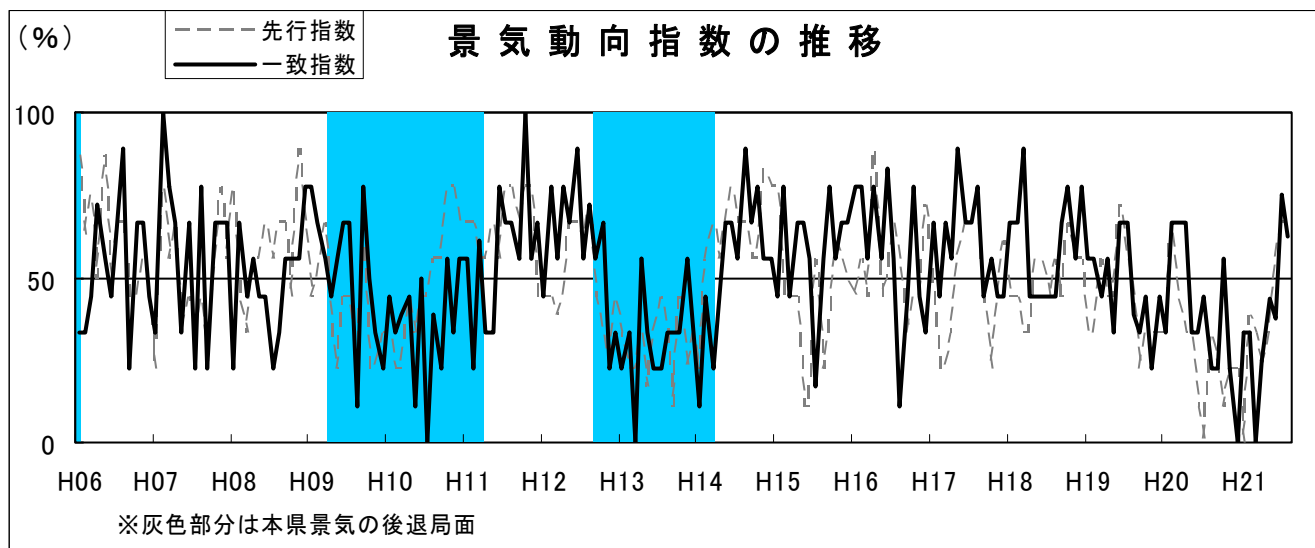
平成21年8月の青森県景気動向指数は、先行指数66.7%、一致指数62.5%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は、3か月連続で50%を上回った。

一致指数は、2か月連続で50%を上回った。

遅行指数は、13か月連続で50%を下回った。

8月の一致指数は、生産、雇用関連の指標が全てプラスとなったことから、2か月連続で50%を上回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中6指標がプラス）			
乗用車新車登録届出台数	2か月連続	新設住宅着工床面積	2か月連続
生産財生産指数	2か月連続	建築着工床面積	3か月連続
新規求人倍率（全数）	3か月連続	企業倒産負債額	2か月連続
所定外労働時間指数	2か月連続		
入職率（製造業）	3か月連続		
中小企業景況DI	3か月連続		
一致系列（8指標中5指標がプラス）			
鉱工業生産指数	2か月連続	大型小売店販売額（既存店）	7か月連続
電気機械生産指数	2か月連続	海上出入貨物量（八戸港）	4か月ぶり
大口電力使用量	3か月連続	日銀券月中発行高	2か月連続
有効求人数（全数）	2か月連続		
総実労働時間数（全産業）	2か月連続		
遅行系列（6指標中2指標がプラス）			
勤労者世帯家計消費支出（実質）	4か月ぶり	常用雇用指数（製造業）	24か月連続
1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり	単位労働コスト（製造業）	4か月連続
		輸入通関実績（八戸港）	12か月連続
		青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	10か月連続

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

※一致系列の物流関連指標「東北自動車道IC利用台数」については、ETC割引（ETC搭載車は休日の高速道路上限1,000円乗り放題）が平成21年3月28日（土）・29日（日）から実施されたことによる影響を受けるため、当面の間、判定に用いないこととする。

(4) 青森県景気ウォッチャー調査

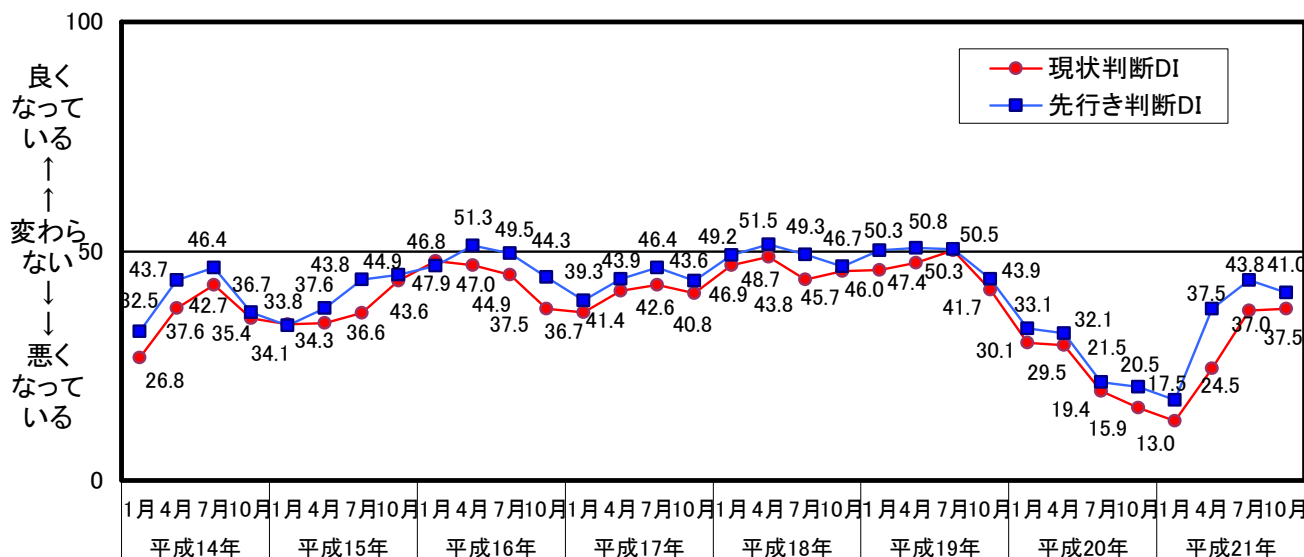
平成21年10月期の景気ウォッチャー調査は、10月1日～10月19日を調査期間とし、回答率は100%となった。

3か月前と比べた景気の現状判断DIは37.5で、前期調査を0.5ポイント上回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは41.0で、前期調査を2.8ポイント下回った。

10月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DIともに、横ばいを示す50を9期連続で下回っているものの、現状判断DIは上昇に転じた4月期調査から3期連続で上昇した。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



● 3か月前と比べた景気の現状判断

動 向	<p>前期調査と比べると、「悪くなっている」が4.0ポイント減少、「やや良くなっている」が1.0ポイント増加したことにより、全体では0.5ポイント上昇の37.5となり、景気の横ばいを示す50を9期連続で下回っているものの、7期ぶりに上昇に転じた4月期調査から3期連続で上昇した。</p> <p>判断理由をみると、消費の落ち込みや低価格競争の激化が企業の業績を悪化させている、低価格商品も動きが鈍いなど、景気が改善する様子が見えないうちという声があった。一方で、高速道路料金の割引による県外客の増加や、前期に比べ受注が増加してきたという声もあった。</p> <p>前期調査に比べて、東青、県南、下北地区でポイントが増加したが、津軽地区でポイントが減少、全地区とも依然として、景気の横ばいを示す50を下回った。</p>
--------	---

● 3か月後の景気の先行き判断

動 向	<p>前期調査と比べると、「悪くなる」が2.0ポイント、「やや悪くなる」が2.0ポイント、「変わらない」が1.0ポイント増加し、「やや良くなる」が5.0ポイント減少したことにより、全体では2.8ポイント減少の41.0となり、景気の横ばいを示す50を9期連続で下回った。</p> <p>判断理由を見ると、上向きになる要素が見あたらない、景気も底を打ったといわれているが実感できない、という声があった。</p> <p>前期調査に比べて、東青、下北地区でポイントが増加したが、津軽、県南地区でポイントが減少し、全地区とも、景気の横ばいを示す50を下回った。</p>
--------	---

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

● 3か月前と比べた景気の現状判断理由

- 公共事業の上期前倒し発注が9月に集中、久し振りに受注状況が目一杯となった。(建設=県南)
- 売上の的にも来街者数的にも数字の上昇傾向が見られず、むしろ減少ぎみの感じがする。(商店街=津軽)
- 悪いまま変わらないということですが、よく来店されていたお客様の来店回数が減少しています。買い控えを感じます。買物の仕方も今迄のものに単品をプラス。1つの買物にじっくり時間をかけ判断されているようです。(衣料専門店=県南)
- 買い控えが定着してきた。スーパーは値下げ合戦で目玉商品は仕入価格より下げて売っている物もある。(食料品製造=津軽)
- 仕事の数量は増えているが、単価が安く売上につながらない。高く買ってもらえる米欧向けは減少したままであり、安くしないと売れないアジア(主に中国)向けのみが伸びている。(電気機械製造=県南)
- △お客様のサイフのヒモがかなり厳しく感じますし、客単価も下がっています。更に来店数も減少し、まだお盆の頃が売り上げが良かったと思います。(コンビニ=東青)
- △景気低迷による節約・消費低迷と低価格競争が激化、企業業績が上向く兆しなし。(食料品製造=東青)
- △消費の落ち込み、新型インフルエンザに対する警戒心等(旅行代理店=津軽)
- ×この2ヶ月間(8~9月)で、商店街における空き店舗が5軒も発生。業況の悪さを顕著にあらわしているのではないかと。(商店街=東青)
- ×今までにないぐらい苦戦しております。天候にも恵まれていないというのがありますが、買い控えというよりも買えない状況になってきているのでは?(一般小売店=下北)

● 3ヵ月後の景気の先行き判断理由

- 安易な好況予測は禁物ですが、8月9月秋物の提案商品の動きが良く消費傾向が上向いているように感じられます。売上の昨対比、客単価も少し回復しています。(衣料専門店=東青)
- 現状維持のまま停滞しそう。景気の上方修正をしているようではあるが実感できるのはまだ先の話である。(都市型ホテル=東青)
- 今はガマン時、耐える時、体力勝負の時。昨年も今年もまた来年も同じ事を言っているでしょう。現状でも継続可能な経営基盤を旨とする気持ちがない人が多過ぎる。(住宅建設販売=津軽)
- 最近、小銭まで、きっちり払っていくお客様が大変増えました。いつもどおりに、つり銭を準備していますが、最近はつり銭があまっています。お札でバンバン買物をしなくなっているようです。(観光名所等=県南)
- 円高が進行し、米国経済の回復も遅れていることから、経済の牽引役である輸出の伸びが期待しづらいため。(紙・パルプ製造=県南)
- △年末、年始に向け、失業者も増えると思われるし、年も越せずに会社を精算するケースもある。(パチンコ=津軽)
- △新型インフルエンザを含め社会不安が増長し、消費者の購買活動が不鮮明なため。(食料品製造=県南)
- △弘前管内では相変わらず有効求人数が過去最低の水準が続いており、現に一年以上事実上失業状態が続いている方々が多数いる。安定した所得がないことで景気改善の兆しは見いだせないと思う。(人材派遣=津軽)
- ×良くなる材料は何もありません。今のところ、いくら頑張っても先が見えません。(一般飲食店=下北)
- ×客先に確認しても今後の受注の見通しが立たない状況。クリスマス商戦が終り受注が激減している模様。(電気機械製造=津軽)

記号の意味:◎良くなっている、○やや良くなっている、□変わらない、△やや悪くなっている、×悪くなっている

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」